

サンプリングによる不確かさの纏め

技術の特徴

- ・ サンプリングによる不確かさは、分析結果の信頼性や適正化に関わるが、決め方が困難である。
- ・ そこであらかじめ、食品の危害要因、栄養値、硬さなどのサンプリングによる不確かさデータを広く詳細に調査してまとめ、サンプリングによる不確かさの新たな理解を作り出す。

研究の内容

均一だと考えられる寒天の針入試験の不確かさの大きさを評価した。比較的均一と思われる試料においても大きなバラツキがあるので、確率的な挙動を示していると考えられる。

検査に用いられるサンプリング計画について情報収集と性能の解析を行っている。

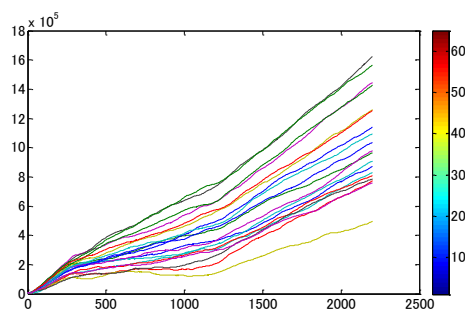


図1 寒天の多点針入試験における各回ごとの距離荷重曲線。横軸が貫入距離
縦軸が荷重。色の違う線は測定点の違いを表す

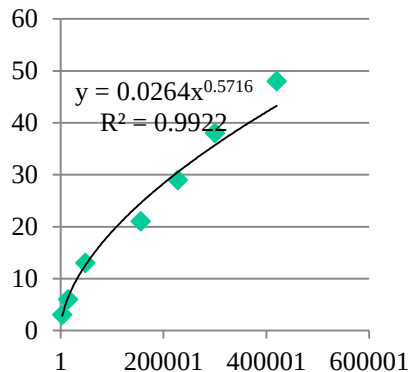
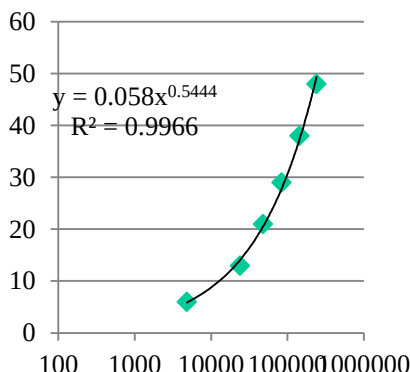


図2 サンプリング計画におけるロットサイズとサンプルサイズの一例
横軸ロットサイズ、縦軸サンプルサイズ

今後の展開

研究ニーズに合わせて、研究テーマを探していく

参 考

- 2015,食品検査で実施されるサンプリングの国際的な状況とそれにおけるロットサイズとサンプルサイズの関係, 日本食品科学工学会誌, 62(4), 165
 2014,微生物技能試験のzスコア計算方法による結果の差異—生産工程プロジェクト参加試験室の平成23年度技能試験参加結果より, 日本食品科学工学会誌, 61(11), 548
 2013,大腸菌群を対象とした土壌サンプリング方法, 生産・流通・加工工程における体系的な危害要因の特性解明とリスク低減技術の開発, 技術情報集, pp63